

算 報 告

城里町の平成24年度決算が9月定例会で認定されました。町民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金等がまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

◆特別会計・公営企業会計◆

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険特別会計(事業勘定)		24億1,577万8千円	23億8,823万5千円	2,754万3千円
国民健康保険特別会計(施設勘定)		2億4,471万8千円	2億3,937万8千円	534万円
後期高齢者医療特別会計		1億8,494万円	1億8,479万2千円	14万8千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)		17億2,209万9千円	17億2,081万8千円	128万1千円
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)		408万9千円	408万8千円	1千円
公共下水道事業特別会計		12億6,880万7千円	12億2,020万4千円	4,860万3千円
農業集落排水事業特別会計		4億3,318万8千円	4億2,734万4千円	584万4千円
水道事業会計	収 益 的	6億1,262万6千円	5億5,191万円	6,071万6千円
	資 本 的	2億2,034万8千円	4億4,459万3千円	※不足額は過年度損益勘定留保資金等で補填しました。

主な町の財産

行政 財産	土 地	807,752㎡
	建 物	118,089㎡
普通 財産	山 林	2,216,316㎡
	土 地	141,734㎡
	建 物	173㎡

基 金

基 金 残 高	50億3,015万5千円
うち一般会計基金残高	47億7,718万3千円
うち財政調整基金残高	31億7,966万5千円

地方債及び一時借入金

地 方 債 現 在 高	238億8,800万9千円
うち一般会計地方債現在高	111億1,262万1千円
一 時 借 入 金 現 在 高	0円

財政分析指標 健全化判断比率

健全化判断比率とは自治体の財政状況を示す指標で、毎年度、前年度の決算に基づく以下の4つの財政指標を議会に報告し、公表することとされています。

平成24年度はすべて基準値を下回っていますが、平成25年度以降は新庁舎建設に係る起債額等の増が見込まれるため、引き続き起債発行事業を精査するなど、計画的な財政運営が求められます。

この基準を超えると、財政健全化計画を作成し、改善に取り組まなければなりません

(単位:%)

指 標	内 容	平成24年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	14.09
連結実質赤字比率	全会計(一般会計、特別会計、企業会計)の赤字の割合	赤字なし	19.09
実質公債費比率	借入金(町債)の返済額の割合	14.3	25.0
将来負担比率	借入金(町債)など将来負担が見込まれる負債の割合	110.7	350.0

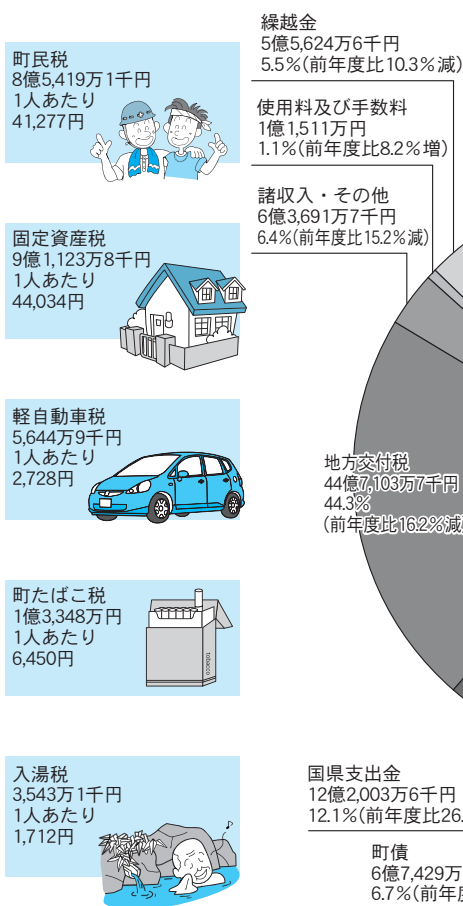
※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字であるため数値の表記はありません。

歳入 100億9,253万9千円
前年度比 15.6%減

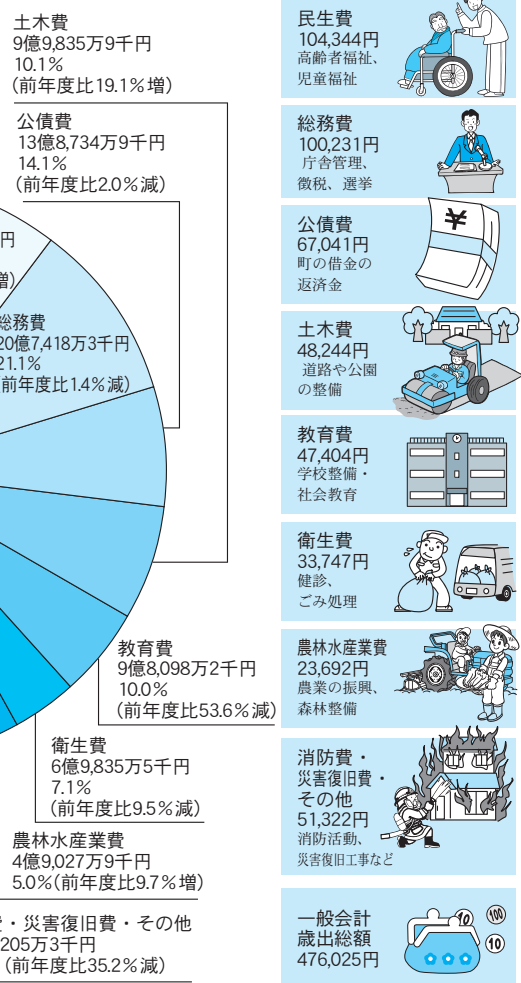
◆ 一般会計 ◆

歳出 98億5,085万2千円
前年度比 13.6%減

町税内訳と町民1人あたり町税負担額



町民1人あたりに使われたお金



※ 1人あたりの金額は平成25年3月31日現在人口20,694人で算出

歳入

平成23年度と比較すると、震災関連の交付金等が大幅に減少し、歳入額全体を縮小させる大きな要因となりました。一方、固定資産税の評価替えにより町税全体は減少となるなか、町民税は法人・個人ともに増加。また、町内に7つあるゴルフ場の利用客の増加によりゴルフ場利用税交付金も伸びるなど、震災の影響で落ち込んでいた各種の収入が徐々に回復しつつあります。

歳出

平成23年度に東日本大震災に係る復旧・復興事業と常北中学校建設工事が概ね完了したことにより、平成24年度は決算額が大幅に減少し、ほぼ震災以前の水準に戻りました。そのようななかで、新庁舎建設に向け、庁舎改築設計委託料 69,300千円(総務費)や、合併支援道路徳蔵倉見線の県委託金 72,400千円(土木費)をはじめ、まちづくりを推進する各種事業が実施されました。

問合せ 企画財政課 ☎029-288-3111 (内線 232)